

7 目標数值



目標数値

【農業】

まちづくり指標	単位	現状 (H26)	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	指標設定の考え方
水田の作付割合	%	89.7	89.8	89.9	90.0	90.0	90.0	水田への作物の作付割合(利用率)の維持を図る。 (農業振興課)
担い手への水田の集積率	%	49	52	55	58	60	65	認定農業者や集落営農への農地の利用集積を高め、所得確保を図る。 (WG・農業振興課)
集落営農数	組織	20	21	22	22	23	24	集落営農の組織化と既存の集落営農の法人化を図る。 (農業振興課)
認定農業者数	経営体	363	350	345	340	335	330	平成 32 年度に 330 経営体の維持を目指す。 (農業振興課)
青年就農給付金支給者数	経営体	14	14	14	14	14	14	毎年度 14 経営体の支給を目指す。 (農家支援室)
家族経営協定数(累計)	組	238	241	244	247	250	253	平成 32 年度に 253 組の締結を目指す。 (農業委員会)
野生鳥獣による農作物被害額	億円	1.35	1.15	1.05	0.95	0.90	0.85	野生鳥獣被害対策の根幹の目標である農作物被害防止を図る。 (農業振興課)
多面的機能支払事業取組農地の割合	%	46.9	58.4	59.2	60.1	61.0	61.9	農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、多面的機能支払事業取組農地の拡大を目指す。 (農業振興課)
中山間地域等直接支払事業取組農地の割合	%	21.1	22.9	22.9	22.9	22.9	23.4	中山間地域等農業生産条件が不利な地域の農用地において、耕作放棄地の発生防止や多面的機能の確保を図るため、取組農地の面積を維持する。 (農業振興課)

まちづくり指標	単位	現状 (H26)	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	指標設定の考え方
農業所得500万円以上の農家数	経営体	13	14	15	16	17	18	高収益農家の拡大を図る。 (農業振興課)
繁殖素牛頭数	頭	2,517	2,550	2,640	2,730	2,810	2,900	繁殖素牛の増頭を目指す。 (畜産振興課)
和牛子牛市場出荷頭数	頭	1,735	1,760	1,820	1,880	1,940	2,000	子牛出荷頭数の増頭を目指す。 (畜産振興課)
いわて遠野牛出荷頭数	頭	1,247	1,200	1,300	1,400	1,500	2,500	平成32年度肥育牛の出荷頭数2,500頭を目指す。 (畜産振興課)
馬生産頭数	頭	39	30	30	30	30	30	乗用馬、農用馬の生産頭数を30頭を維持する。 (WG・馬事振興課)
乗用馬市場取引金額	万円	2,152	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	需要に対応した馬の生産・育成を推進する。 (WG・馬事振興課)
農業生産額(耕種)	千万円	277	276	278	279	280	282	米、麦類、雑穀・豆類、いも類、野菜、果実、花き・花木等、工芸作物、淡水魚、特産品等生産額 (農業振興課・農家支援室)
農業生産額(畜産)	千万円	374	356	355	361	367	428	肉用牛、乳用牛、豚、鶏、その他畜産生産額 (畜産振興課)
農業生産額(特用林産)	千万円	27	28	29	29	29	30	原木しいたけ、わさびの生産額 (林業振興課・農家支援室)
農産物直売所売上高	千万円	55	56	57	58	59	60	平成32年度に6億円を目指す。 (農家支援室)
6次産業化関連効果額	億円	16.5	17.0	17.2	17.3	17.4	17.6	32年度に製造品出荷額(食料品のみ)及び特産品販売額並びに農産物直売所売上額17億6千万を目指す。 (商工観光課・農家支援室)

【林業】

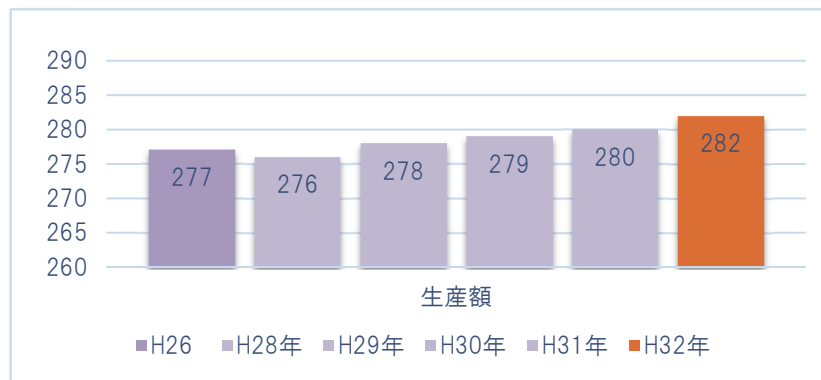
まちづくり指標	単位	現状 (H26)	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	指標設定の考え方
森林整備面積	ha	494	490	509	547	585	585	市有林、民有林の間伐等森林整備面積の計。 (林業振興課)
民有林再造林面積	ha	42.7	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	計画的な再造林を推進する。 (林業振興課)
木工団地事業体の売上高	億円	17	17	17	18	18	18	年間売り上げ 18 億円を目指す (林業振興課)
松くい虫被害木駆除材積量	m ³	600	600	600	600	600	600	毎年度 600 m ³ の駆除を目指す。 (林業振興課)
特用林産物生産量(原木しいたけ)	t	0.0	1.8	2.3	3.5	4.6	4.6	平成 32 年度に 4.6tの生産量を目指す。

農業生産額目標

(1) 耕種及び畜産の農業生産額

H32年
耕種目標額

282千万円 (対26年度比101%)



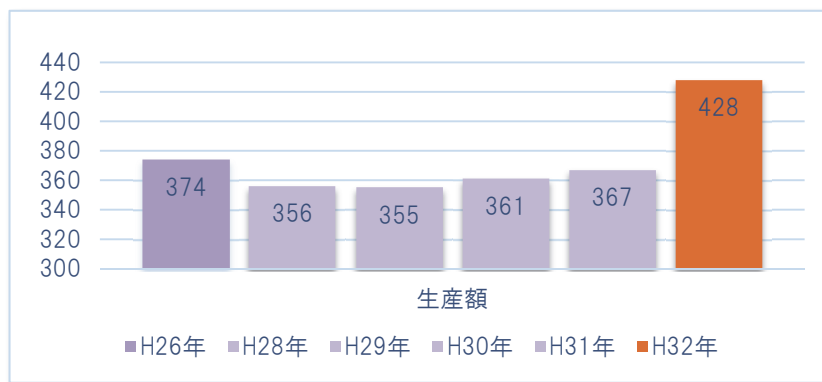
単位：千万円

品目	現状 (H26)	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年
耕種計	277.0	276.0	278.0	279.0	280.0	282.0
米	193.0	191.0	189.0	187.0	185.0	183.0
麦類 ※1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
雑穀・豆类	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
いも類 ※1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
野菜	37.0	38.0	42.0	45.0	48.0	52.0
ピーマン	5.3	5.5	8.8	11.0	13.1	16.4
ホウレンソウ	5.4	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
アスパラガス	0.9	0.8	1.0	1.4	2.1	2.8
ニラ	1.4	2.0	2.0	2.1	2.2	2.3
その他	24.0	23.7	24.2	24.5	24.6	24.5
果実	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
花き・花木等	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
トルコギキョウ	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
その他	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
工芸作物	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0
葉たばこ	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
ホップ	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
淡水魚	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

※1 生産額が1千万円以下のため「0.0」で表記。

H32
畜産目標額

428千万円 (対26年度比114%)

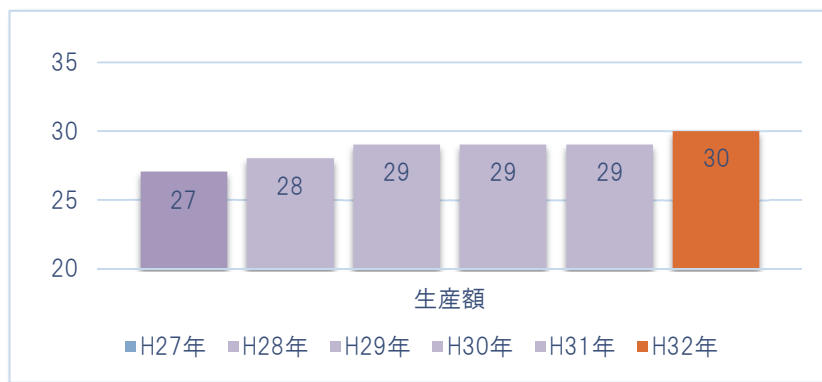


単位:千万円

品目	現状 (H26)	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年
畜産計	374.0	356.0	355.0	361.0	367.0	428.0
肉用牛	194.0	180.0	187.0	196.0	206.0	275.0
黒毛和牛子牛	89.4	82.7	85.5	88.4	91.2	94.0
黒毛和牛肥育	91.3	84.0	91.0	98.0	105.0	174.0
その他	13.3	13.3	10.5	9.6	9.8	7.0
乳用牛	72.0	67.0	64.0	60.0	56.0	48.0
豚・鶏・その他	108.0	106.7	101.7	102.7	102.7	102.7
乗用馬	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3

H32
特用林産物
目標額

30 千万円 (対 26 年度比 111%)



単位: 千万円

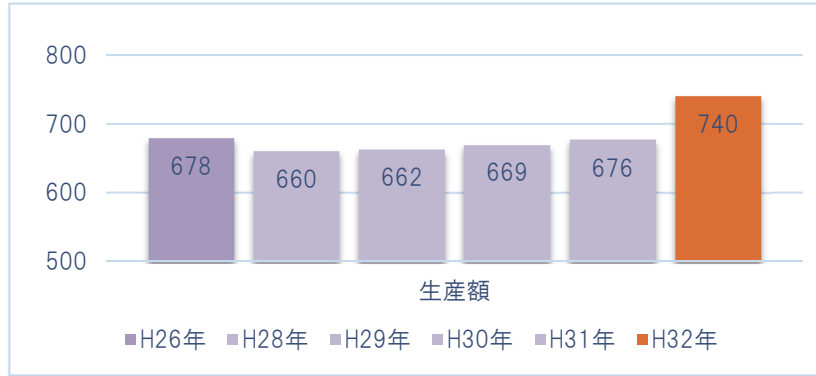
品 目	現状 (H26)	H28 年	H29 年	H30 年	H31 年	H32 年
特用林産物	27.0	28.0	29.0	29.0	29.0	30.0
ワサビ	4.0	4.1	4.8	5.0	5.2	5.5
菌床シイタケ	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5
原木乾シイタケ	0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5
その他	2.5	2.3	2.5	2.2	1.9	2.5

※ その他とは、ブルーベリー、タラノメ、ヤマブドウ、山菜

(2) 農業生産額

H32
目標額

740千万円 (対26年度比109%)



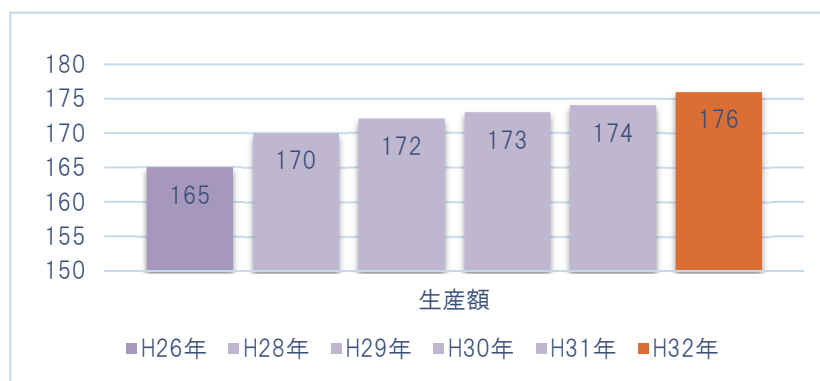
単位：千万円

品目	H26年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年
農業生産額	678.0	660.0	662.0	669.0	676.0	740.0

(3) その他関連生産額

H32
目標額

176千万円 (対26年度比106%)



単位：千万円

品目	現状 (H26)	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年
その他関連生産額	165	170.0	172.0	173.0	174.0	176.0
農産物直売所	55.0	57.0	57.0	58.0	59.0	60.0
6次産業化関連効果額	110.0	113.0	115.0	115.0	115.0	116.0

